

シルバー 安全だより

第66号

令和5年1月1日

公益社団法人
日向市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、安全就業へのご協力感謝申し上げます。

ここ数年続けて、日向市センターは、会員の皆様に作っていただいた「安全標語」が、宮崎県の連合会から賞に選ばれて表彰されています。これもひとえに会員の皆様の安全就業に取り組む姿勢の表れだと安全・適正就業委員会の皆で大変喜んでおります。あとは、傷害事故、物損事故が『0』になることです。今、委員会では、防護ネットを会員の皆様が使い易いものにするため試行錯誤を繰り返しています。ご意見等ありましたら、ぜひ聞かせてください。新しい年はより安全に就業できるよう皆で事故『0』を目指しましょう。

物損事故撲滅の為の取組

シルバー人材センターの受注作業の中で、草刈作業での物損事故が極めて多く発生しております。これは日向市シルバー人材センターに限らず、宮崎県内又全国のシルバー人材センターでも同様の状態となっております。

令和3年度の全シ協ニュースで全国での高額賠償金額上位5件の内、草刈機による損害が3件入っています。

<内訳としては>

- 第1位… ぶどう畑(3反)の草刈作業中、草刈機が小石を飛ばして3反分のぶどうに傷をつけた。(賠償額 5,300,000円)
- 第2位… 草刈機で児童の左手親指を切った。(賠償額 4,900,000円)
- 第4位… 草刈機が小石を飛ばして自動車に傷をつけた。(賠償額 3,400,000円)

このように全国では目ん玉が飛び出るような高額賠償事故が発生しております。日向市シルバー人材センターでも、このような高額賠償事故がいつ起きるともかぎりません。安全・適正就業委員会では、この現状に危機感を抱き事故撲滅の対策を検討してきました。

<協議の結果>

1.防護ネットを確実に設置することを徹底する。

①草刈機を回すときは、必ず手持ちの防護ネットを使用する。(2人1組で) ②そのための防護ネットは、シルバー人材センターで準備する。(現在製作中) ③導入に際して、草刈班・剪定班の研修会等で説明し意見交換をし、実施に向けて進めていきたい。

2.高刈りの推奨

①高刈りを基本とすることの徹底を図る。 ②草刈班・剪定班の研修会等で意見を聞く。

以上のような取り組みを進めていきたいと思っておりますので、会員の皆様には安全就業推進の為、より一層のご協力をお願い致します。



安全・適正就業委員長
堀田 文作



安全就業推進員
大田 寛

ちょっと脳トレ♪



委員
甲斐 和子

日頃から楽しみながら脳のトレーニングで脳を活性化し認知機能の低下を予防しましょう。脳の活性化が安全就業にもつながります。今年も安全就業を心掛け元気に楽しく過ごしましょう!

答…顔の部位を表す



あるの共通点は?

ヒント…ひらがなにすると..

わかりましたか? 脳の機能は加齢とともに低下しますが毎日、積極的に脳を使う習慣をつける事によって脳の機能の低下を防ぐ事が出来ます。最近ではスマホでも手軽に色々な脳トレが出来るようになってきましたね。

ある	なし
花	草
葉	茎
芽	根



皆さんの現場見せてください!!
~毎月の安全パトロールより~



機械刈作業の前に



委員
田中 英雄

家屋近くの草を刈る場合、水道管やガス管等が草の中に隠れて見えない場合があります。特に家屋の近くは手鎌等で障害物の有無を確認してから作業するようによろしくお願いします。



尾前 敏次

作業用のヘルメットは頭部の損傷等を軽減するための保護具であります。物が落ちてきたり高所からの墜落など又草刈り作業中に木の切り株につまづいて後ろ向きにひっくり返った人もいます。作業中、色々な事故を想定して必ずヘルメットの着用をよろしくをお願いします。

綾町 SC 安全パトロールに参加して

綾町シルバー人材センターは、過去5年間事故0で、全国SCから安全就業について表彰されています。きつと学ぶべきことがあるのではないかと、10月20日(木)に事務局職員2名が安全パトロールに同行させていただきました。草刈現場・剪定現場・育苗現場を見たあと、綾町の事務局長の話をうかがいました。

山元 隆

注目ポイントとして挙げられるのは、会員と事務局との作業の現地確認と打ち合わせで、作業手順はもちろん、それぞれの現場で予想される危険箇所を細かく確認しているということでした。それを更に就業前のミーティングで作業員全員が共通理解し、このことで作業員全員が安全について、自分のこととして捉え、作業に当たることができるということです。丁寧な打ち合わせの大切さを感じました。できるところから見習いたいと思います。そして会員さんと一緒になって事故0を目指していきたいと思っています。



ヒヤリハット体験事例

安全・適正就業委員会では、会員の皆さんが体験し、事務局に出して下さったヒヤリハットをまとめて事例集作成を目指しています。その一部を紹介すると、【歩道近くの草刈作業で、歩道を走ってくる自転車とぶつかりそうになった事例、空地の草刈作業中、いつの間にか間隔が近くなっていて隣ではねた石がヘルメットに当たった事例、作業場所から道路が死角になる所の草刈で、車に気付くのが遅くなった事例、雨の日に車を運転中、前の車にぶつかりそうになり急ブレーキを踏んだところ、横滑りして対向車にぶつかりそうになった事例等々】これらはこの現場だけのことでなく、また、自分にも起こりうるものだと思います。そして、自分だったらこのように防ぐだろうということも考えることができます。

このような事例をたくさんの会員が交流・共有することで、多くの事故は防ぐことができると思います。皆さんが体験したヒヤリハットをもっと知りたいので、ぜひ事務局にお知らせください。そしてみんなで交流・共有し事故を無くしていきましょう。

命を守るヘルメット

GOGO!! 安全くん



世代間交流ソフトボール大会は中止致します。第47回グランドゴルフ大会は1月27日にお倉が浜総合公園にて開催予定です。お申込みは、事務局までお電話下さい。